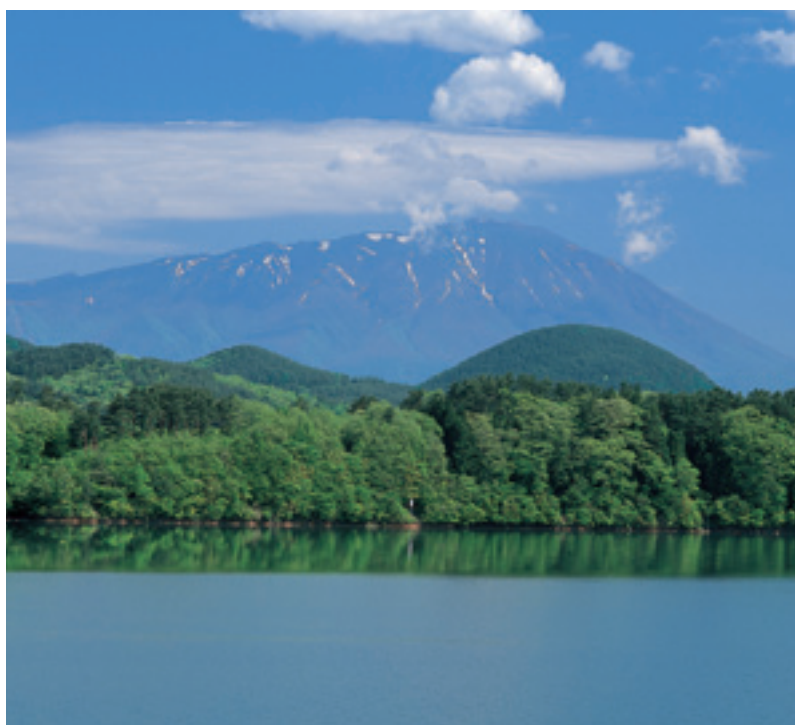


いわて生活協同組合

社会活動・環境活動報告書

2009年度版



Contents

いわて生協のめざすもの	1
理事長ごあいさつ	2
1. コープ商品と生協への信頼回復をめざした取り組み	3
2. 県産・国産の取り扱い、地産地消を強める取り組み	5
3. 「顔」「暮らし」をつなげ、食と農を守る産直運動	7
4. 暮らし・平和を守る活動	9
5. 子どもたちとママ&パパを応援「子育て支援活動」	11
6. 世界の子どもたちに笑顔と明るい未来を「ユニセフ活動」	12
7. 地域に助け合いの輪を広げる「福祉活動」	13
8. 協同の力で心ゆたかな暮らしをつくる「文化活動」	14
9. いわて生協の事業活動(1) 店舗・共同購入	15
10. いわて生協の事業活動(2) 共済・介護福祉・葬祭事業	17
11. いわて生協の運営	19
12. いわて生協の機関運営とコンプライアンス経営	20
13. いわて生協の環境方針	21
14. 環境影響の把握(環境影響概念図)	22
15. 環境活動トピックス 2008~2009	23
16. いわて生協のリサイクル活動	27
17. 地球温暖化防止対策自主行動計画と結果	29
18. 環境負荷が小さい「県内産」「国産」商品の普及	30
19. 環境活動 21項目で目標達成	31
20. ISO 14001:2004環境マネジメント活動 内部環境監査・外部機関による審査	33
21. 環境マネジメント体制 いわて生協の環境会計	34
22. いわて生協の環境活動のあゆみ	35
いわて生協のプロフィール、2008年度の事業の決算概況	37
事業所一覧	38

いわて生協のめざすもの

私たちいわて生協は、〈地域〉〈協同〉〈食〉〈環境〉〈平和〉の5つを大切に、ひとりでは実現できないくらしの願いをみんなで話し合い、たくさん実現していくことをめざします。

地域

私たちは、「人間」がもっとも大切にされ、だれもが安心してくらする社会と、人と人とのつながりを強め、伝統・文化などが大切にされる地域をめざします。

協同

私たちは、ひとりでは実現できないくらしの願いを、多くの人や団体・協同組合との協同の力を強め、みんなで実現していくことをめざします。

食

私たちは、「安全・安心・健康な食生活」にこたえる運動・事業をさらに強め、食の安全と農林漁業を守り、食料自給率を高めることをめざします。

環境

私たちは、環境負荷を減らす事業とくらしの見直しをすすめ、子どもたちに持続可能な地球環境を残すことをめざします。

平和

私たちは、くらしの基本である平和を守っていくことを、未来を担う子どもたちといっしょにすすめます。

2009年版 社会的活動・環境報告書 発行にあたって



いわて生活協同組合
理事長 池田和昌

この一年間、組合員のくらしといわて生協の事業・活動をめぐる環境は、大きく変化しました。

昨年前半は、新自由主義の旗印の下、投機マネーの横行により世界的に原油や資材・穀物の価格が大暴騰し、農漁業や製造・流通の現場を窮地に追い込み、経営とくらしの危機をもたらしました。後半は一転して、アメリカ型資本主義の行き詰まり（新自由主義の破綻）による金融危機が世界市場を駆け巡り、景気の悪化と需要の減退を引き起こし、原油・資材・穀物価格は急速に下落しました。

そうした中で、岩手県においても県内経済を引っ張ってきた自動車・半導体関連の産業が、円高も加わって生産活動を縮小、これによって雇用切りや資金抑制が進み、不況と需要の減少がいつそう強まりました。くらしと先行きへの不安が高まり、買い控えが進み、ムダを省いた省エネ型の生活へと変化してきています。

私たちいわて生協は、当面の組合員の要求にこたえつつ、安心してくらす生活者主体の地域社会を希求し、その実現にむけて努力していきたいと考えています。

2008年度、いわて生協は新店「ベルフまつぞの」や新「久慈支部」を開設しましたが、不採算店舗の閉店も余儀なくされるなど、決して平坦な一年ではありませんでした。しかし、この中で「食の安全」を確保する取り組みを着実に推進できたことは大きな成果でしたし、くらしを守り豊かにするための様々な活動も他団体との共同を強めながら引き続き進めてまいりました。環境活動の面でも成果を積み上げることができました。

この「2009年版社会活動・環境活動報告書」は、一年間の活動の全体像をみなさまにお伝えするために毎年作成しています。ぜひご一読の上ご助言、ご批判をいただければ幸いに存じます。

末尾ですが、今後みなさまとの共同が「食の安全」「県内産業の発展」「環境」「よりよい地域社会づくり」等の分野で一層強まっていくことを期待して、発行のごあいさつといたします。

コープ商品と生協への 信頼回復をめざした取り組み

2008年度は、「コープ手作り餃子中毒事件」をうけて、組合員や県民のみなさんからいただいた声を真摯に受け止め、コープ商品と生協への信頼を回復するための取り組みを全力をあげてすすめました。

商品の情報提供やチェックを強化

組合員からの意見にこたえ、加工食品の原産国（製造国）表示を強めました。お店の売り場ではコープ商品（食品）について、共同購入ウィークでは加工食品全品について表示。また、インターネット・店頭端末ではコープ商品（食品）の主要原料の原産地などを検索できるしくみをスタートさせました。

中国原産の加工食品は、どうしても代替できる商品がないものに限って取り扱いを継続しています。中国も含めた海外製造の加工食品のうち、いわて生協が仕入れ管理している33品目の残留農薬検査を行い、問題がないことを確認しました。また特定原材料（岩手県産豚肉使用など）を使用したアイコープ商品・アイススタイル商品28品目についても原料の検査を行い、問題がないことを確認しています。

年1回のアイコープ商品製造委託工場の安全衛生点検は、2008年度も58か所で実施しました。



コープ商品（食品）の主要原料の原産地などを、店頭端末やインターネットで検索できます。



2008年度も、アイコープ商品の製造委託工場58か所の安全衛生点検を実施

商品の品質を維持・向上させるために

商品検査室では、いわて生協が供給する商品の品質・衛生を確保するため、自主基準を設けて細菌検査を行っています。必要に応じてアイコープ商品の製造委託先や店舗に結果を報告し、改善に取り組みせました。2008年度は3,294検体を検査したほか、外部機関に委託して産直農産物の農薬検査なども実施しました。

<品質管理室での細菌検査のおもなもの>

- ① アイコープ商品の定期検査
- ② 店舗生産の寿司・刺身・惣菜・カットフルーツ等の抜き取り検査
- ③ フィッシュセンター・ミートセンター生産品の検査
- ④ 共同購入商品の抜き取り検査、および新規取り扱い商品の事前検査
- ⑤ おせち・オードブル等季節商品の事前検査
- ⑥ 消費期限設定のための保存検査
- ⑦ 腐敗、異臭、異物混入などの申し出があった場合の原因究明のための検査

商品事故の際は適切に対応・お知らせ

2008年度は「コープカップめん移り香問題」、2009年度に入っては「アイコープ低脂肪牛乳異物混入問題」などの商品事故も発生しましたが、発生した問題に対しては、利用組合員へのお知らせを徹底して行い、適切で責任ある対応をすすめてきました。

供給した商品についての組合員からのお申し出（苦情・ご指摘）は、2008年度は店舗・共同購入合わせて1,415件ありました。再発防止のための改善にいかしたほか、回答要望のあるものにはすべてお答えしました。



「おいが「移りやすい商品」、「移しやすい商品」それぞれシヨーカーカードでお知らせしています。

産直品の安全・安心を確認

組合員と生協常勤者が産直提携産地で、産直品の「栽培」「飼育」「生産」「流通」に関する約束事が守られているかを確認・監査する「公開安全確認会」を2003年度から毎年実施。2008年度は32産地で組合員187人の参加で行われました。

いわて生協の店舗や共同購入で産直品がどのように「入荷」「加工」「保管」「供給」されているかを確認する「産直業務確認会」も、2004年度から毎年実施。2008年度も組合員30人、生産者33人の参加で行われました。



公開安全確認会では「生産者の努力にこたえよう」の思いが強まりました。



産直業務確認会での意見を受け、売り場での情報発信の改善も取り組まれました。

産直野菜は「農薬使用基準」を遵守

排除農薬	使用禁止する 14農薬	NAC、ベンゾエピン、ジメトエート、2,4PA、ジネブ、MEP、マンネブ、DEP、EPN、ジラム、チウラム、カルベンダゾール、マラソン、クロルピクリン
排除目標農薬	排除に向けて 計画的に努力する 7農薬	DDVP、キャプタン、ダイアジノン、ベノミル、パラコート、リニユロン、アトラジン

産直品のトレーサビリティ

岩手県内の産直農産物について、産地・生産者・栽培方法・農薬使用状況などを、店舗備え付けの専用タッチパネルや、いわて生協のホームページで、また野菜などのラベルの2次元コードを携帯電話に読み込み、知ることができます。



店舗のタッチパネルで産直品の情報を見ることができます。

また、産直豚肉・鶏肉の産地の情報も、いわて生協のホームページで確認することができます。

食の安全と農林漁業を守り、食料自給率を高めるために

「コープ手作り餃子中毒事件」によって、あらためて知らされた日本の食料自給率の低さ。農林漁業を守り、食料自給率を高めていくために、今できることを考えあおうと、世界の食糧危機や日本の農業の実態・問題点、食の安全の問題点などについて学習しました。「輸入食品の検査強化と農林漁業を守り食料自給率向上を求める署名」は、短期間で47,975筆（岩手県全体では52,107筆）が寄せられ、国会へ提出しました。



「組合員のつどい」では、原油や穀物の世界的高騰の問題や食料自給率について学習。



組合員の代表が、署名を携え、岩手県選出の国会議員を訪ね、要請を行いました。

県産・国産の取り扱い、地産地消を強める取り組み

食の安全と農林漁業を守り、食料自給率を高めるためには、まず県産品や国産の扱いを強めること。いわて生協では、県内の生産者や事業者、行政やJAとのネットワークを広げながら、地産地消の取り組みをすすめています。

県産原料にこだわり、地元の製造業者と組合員がいっしょに商品開発



アイコープ商品・アイスタイル商品は、いわて生協が独自に開発・供給している商品です。できるだけ岩手県産・国産の原料を使い、できるだけ岩手県内の工場で製造。地場産業・製品の育成にもつながっています。

2008年度に開発・改善したアイコープ商品は9品目。1万1千人の組合員が開発や学習・試食に参加しました。

アイコープ商品・アイスタイルの供給実績 (2008年度)

分類	供給高	開発商品供給高	開発商品構成比
農産(野菜)	24.2億円	0.3億円	1.1%
水産	42.8億円	2.0億円	4.7%
畜産	29.1億円	3.6億円	12.5%
日配	64.3億円	14.0億円	21.8%
食品・菓子	55.6億円	1.4億円	2.5%
米	5.6億円	3.7億円	64.9%
生活用品	13.8億円	0.1億円	0.9%
計	235.5億円	25.1億円	10.7%

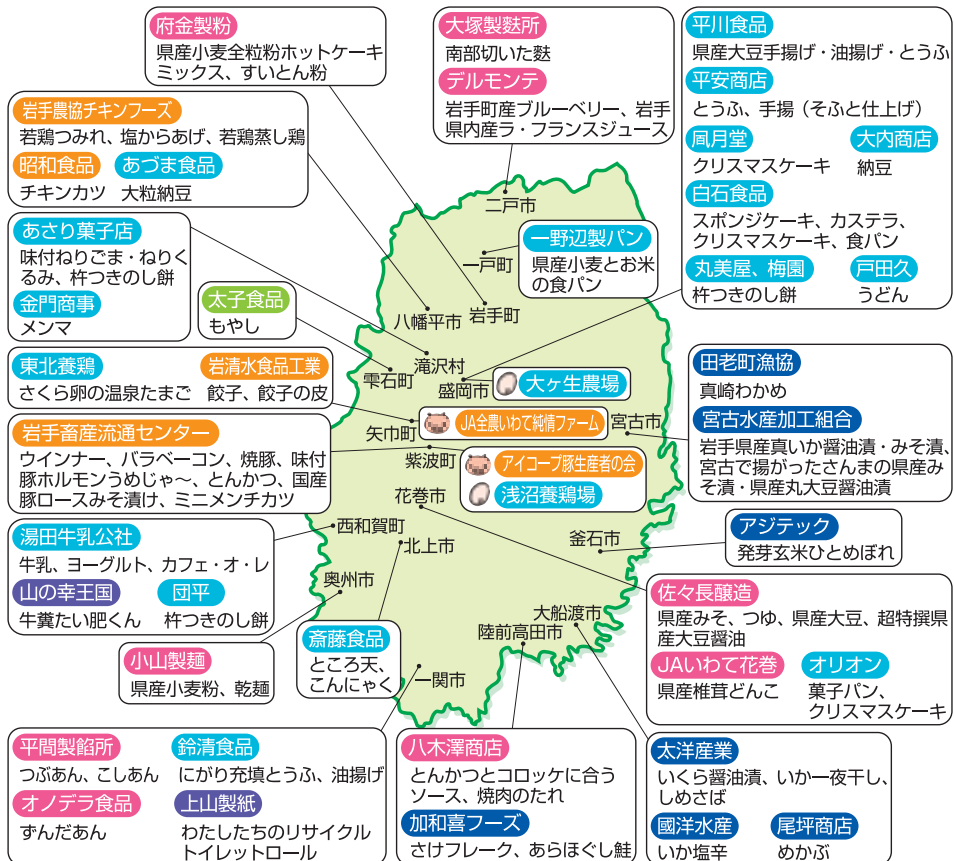
※開発商品がない部門分類は記載していません。

※岩手県学校生協と秋田県北生協の共同購入利用分も含まれています。

i-coop すき焼のたれ



盛岡西コープの組合員が開発に参加。製造は花巻市の佐々長醸造。岩手県産の原材料を主に使った「アイコープ」だしたっぷりつゆ」と「アイコープ」超特選県産大豆醤油「みりん、砂糖だけ。



県産食材普及の取り組みを継続して実施

店舗では、毎月4週目に「岩手を食べよう」企画を実施。また、年4回の「産直収穫祭」で産直品のこだわりとおいしさを知らせ、利用拡大をはかりました。共同購入でも毎月第4週の「岩手を食べよう」企画のほか、2か月に1回「東北育ち」特集なども行い、利用が増えました。



産直収穫祭では店舗の各部門のほか、組合員も試食おすすめを行いながら、産直品のよさを広めました。



行政やJA、生産者らと協力しあい、地元の農林水産物を普及

ベルフ仙北での「みやこうまいもの市」は、2008年度は毎月開催し、さらに10月からはベルフ青山でも開催。「地産地消フェスタ」はコープ関コルザとコープアテルイで開催しました。こうした取り組みは2009年度も継続・強化しており、「にしわが 山の市場」もスタートしました（ベルフまつぞので年4回開催予定）。



「みやこうまいもの市」は、2008年10月からは2店舗で開催、2009年度も継続します。

企画名	会場	出店者数
みやこうまいもの市	ベルフ仙北(12回) ベルフ青山(6回)	14業者
第4回コープ関コルザ 地産地消フェスタ	コープ関コルザ	30団体
第1回カルチャーパークあてるい 地産地消フェスタ	カルチャーパークあてるい	30団体

地場産品のよさにふれるツアー

体験を通して地場産品のよさにふれ、地元生産者との交流をはかる産地ツアーを2008年度も実施。5回の企画に計132人が参加しました。

日程	企画	参加人数
7月20日	真崎海岸でうに殻むき 塩蔵わかめ芯抜き体験	19人
8月31日	今松野菜生産組合での野菜収穫体験と 奥中山高原	26人
10月26日	岩泉での山ぶどう収穫 ジュースづくり体験	29人
11月23日	大船渡浜一番まつりでのかき殻むき いくら作り体験	34人
1月1日	浄土ヶ浜初日の出クルーズと マリンコープDORA初売	24人



「山ぶどう収穫とジュースづくり体験」では大根収穫の体験も。

いわて生協の「産直」は、単なる産地直送ではなく、「顔とくらしの見える」関係づくりを大切にしています。「安全・安心」な食べものを求める組合員と、こだわりをもって食べ物をつくり、食べる人に喜んでもらえることをやりがいとする生産者が、交流しながらよりよい生産物をつくり、日本の農業と食料を守っていく運動として取り組んでいます。

いわて生協の 産直三原則

- ① 生産地と生産者が明確であること
- ② 栽培、飼育方法が明確であること
- ③ 組合員と生産者が交流できること

いわて生協 新産直基準

- ① 組合員の参加を強め、組合員の願いを商品づくりに反映させます。
- ② 「地産地消」の取り組みを強め、岩手の農林水産業を守り発展させることに貢献します。
- ③ 組合員と生産者が自立・平等の立場で、お互いに発展できることをめざします。
- ④ 産地、生産者、生産・流通方法を明確にし、情報公開をします。
- ⑤ 生産方法などを記録し、定期的に点検・検査を行います。
- ⑥ 後継者育成や、環境負荷低減（農薬の削減など）を支援します。

産直品の供給実績（2008年度）

分類	供給高	産直品供給高	産直品構成比
①果物	11.8億円	1.5億円	12%
②野菜	22.3億円	8.4億円	38%
農産(①+②)	34.2億円	9.9億円	29%
③水産	37.5億円	0.3億円	0.9%
④畜産	25.8億円	7.2億円	28%
⑤日配	60.8億円	11.6億円	19%
⑥米	5.2億円	2.5億円	47%
①～⑥合計	163.4億円	31.5億円	19%
食品合計	242.8億円	31.5億円	13%
総供給高	349.5億円	31.5億円	9%

産直交流に1,400人が参加

“顔とくらしの見える”関係を強めるため、生産者と組合員の交流活動を企画し、多くの組合員が参加しています。交流することで確認できた商品のよさを、より多くの組合員に知らせる取り組みも行われ、利用拡大につながりました。



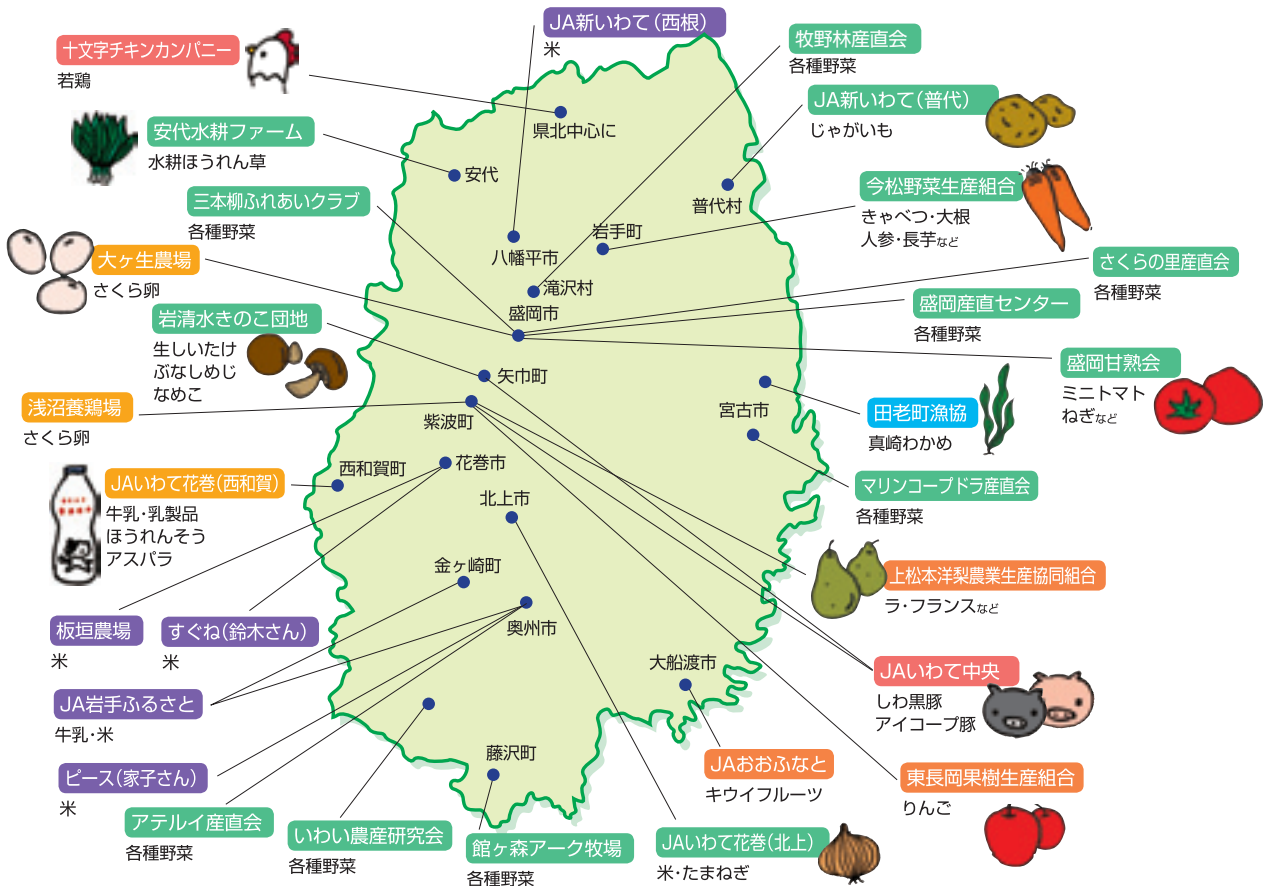
産直米の産地で、生産者に教わりながら田植えや稲刈りを体験。



生協牛乳のふるさとを親子で訪ね、酪農の現場にふれる企画を毎年実施しています。

企画名	開催地・回数	参加人数
産地交流会・産地見学	37回	1,055人
生協牛乳ふるさと訪問	西和賀町、金ヶ崎町 各1回	50人
牛乳ソムリエセミナー	西和賀町2回	58人
地域まるごとゆったり体験	西和賀町1回	20人
産直米交流会	八幡平市(西根)4回、花巻市4回、北上市2回	212人
お飾り祈願祭	西和賀町1回	30人

県内のJA・生産者団体を中心に、26団体(35グループ)と提携



生産し続けてもらえるよう、生産者を支えよう

2008年度は、全国的にも廃業が相次ぐなど、きびしい経営を強いられている牛乳生産者を応援しようと募金や利用おすすめに取り組みました。募金200万円と搾乳用タオル4千枚、応援メッセージ376通が寄せられ、産直酪農家へ贈呈しました。



「おいしくて安心な牛乳を生産し続けてください」と募金を贈呈。



牛乳利用をおすすめし、募金をよびかけました。

より身近な産地・生産者につながる「地場産直コーナー」

2008年度は、盛岡のベルフまつぞのとコープ緑が丘に地場産直コーナーを導入。生産物を出品しているのは、盛岡市玉山区の「さくらの里産直会」のみなさんです。また、2009年夏にオープンするベルフ牧野林(滝沢村)には「牧野林産直会(仮称)」の産直コーナーを設ける予定で、準備をすすめています。



ベルフまつぞの「さくらの里産直会」コーナー。



組合員が産地を見学、生産者と交流。

● みんなの力を合わせて要求を実現！

2008年度は、世界的な原油・穀物の異常高騰や経済危機が、くらしや農林漁業、地域経済に大きな打撃を与えました。こうした中で、県内12団体といっしょに「原油高騰への緊急対策」を求める運動や、後期高齢者医療制度の廃止を求める運動などに取り組み、県内での運動推進に積極的な役割を果たしました。

800人の緊急大集会と10万人署名で世論づくり。「福祉灯油」を今年も実現・拡充

2008年も灯油や石油製品が異常高騰する中で、岩手県生協連といっしょに、「灯油問題緊急対策本部」を立ち上げ、JAやバス会社など県内12団体といっしょに、原油高への緊急対策を求めている緊急大集会を開催。10万人署名の呼びかけには、短期間で73,834筆が集まり、国会に提出、要請しました。

「高齢者や生活弱者への『福祉灯油』を今年も継続して欲しい」と、県や市町村に要請。その結果、岩手県議会をはじめ、全市町村議会から国への意見書が提出され、「福祉灯油」が実施されました。岩手県の補助は、東北・北海道でも最も多い金額となりました。



県内12団体といっしょに開催した「緊急大集会」には800人が参加、集会後はアピール行進。



「原油高への国の緊急対策を求める」10万人署名に取り組み国会へ提出、組合員の代表が要請行動。

後期高齢者医療制度は、廃止を求め要請行動

2008年4月からスタートした制度には、重い負担に怒りの声が上がりました。この制度の廃止を求めて、県内の団体といっしょに国会要請や街頭宣伝行動、岩手県議会への請願を行いました。2008年6月に、参議院で「廃止法案」が採択されましたが、引き続き廃止を求めて運動が必要です。



「税・社会保障を考える連続学習会」は4回開催、460人が参加しました。



後期高齢者医療制度の中止・廃止を求めた国会要請に、組合員の代表が参加。

● 「戦争」「平和」について、知り・学び・考えあい・行動

「私たちが願うよりよいくらしも、平和があつてこそ」と、さまざまな草の根の活動に取り組んでいます。

毎年8月には、組合員から募ったカンパで「ピースアクションinヒロシマ」へ代表を派遣。これまでに200人以上が原爆投下の地で貴重な体験をし、それを地域の組合員へ広げています。

世界各地で紛争・戦争がたえない中、イラク戦争開戦以来、毎年3月に「世界の平和を願う市民のつどいin岩手」を開催。“イラクの今”を知り、平和への願いを強めています。

憲法制定の真実を多くの方に知らせようと、映画「日本の青空」上映、平和交流会や集会などにも取り組みました。平和について組合員が自主的に考え学びあえる「いわてピースキャンパス」には、現在45人が参加しています。



2008年は103万円のカンパで8人の代表をヒロシマに派遣。



映画「日本の青空」は、2007年度からの上映で7,600人が鑑賞。



1995年、いわて生協を中心に2万人を超える県民の募金で、盛岡の「高松の池」ほとりに建てられた「望み」。毎年8月9日には、この像を囲んで「平和のつどい」を開催。



「平和憲法・9条をまもる岩手の会」学習交流会では、朝日新聞記者の伊藤千尋さんが講演。



「世界の平和を願う市民のつどい」は毎年3月に開催。戦争の実状を知り、思いをあらたにする機会になっています。



ピースキャンパス学習交流会では、中国からの留学生との交流も。

● 劇映画「いのちの山河」製作上映運動で、沢内村“生命行政”の理念を発信

現在、医師不足や財政悪化による地域医療の危機、介護や医療など社会保障の後退がすすんでいます。47年も前に、全国に先駆けて老人と乳児の医療費無料化の実施、全国初の乳児死亡率「ゼロ」を達成した村がありました。この沢内村（現西和賀町）の生命行政を推進した故深澤晟雄村長を主人公にして、「自分たちで命を守った村」を描く劇映画「いのちの山河～日本の青空Ⅱ～」が製作されることになり、いわて生協も積極的に製作協力券の普及に取り組んでいます。完成後（2009年8月）は、上映運動に取り組めます。



深澤村長役には長谷川初範、妻のミキ役にはとよた真帆など、豪華キャストで製作。

子どもたちのために、またお母さんやお父さんの子育てを応援するために、こんなことができたらいい…という思いを協同の力で一つひとつ実現し、広げています。

ママのリラックスタイム

乳幼児をもつママたちが、子どもと一緒にホッとリラックスタイムしてほめる「親子の遊び場」。事前の申し込みは不要、時間内はいつ来ても・いつ帰ってもOKという気軽さが人気です。6店舗の組合員施設で、毎月1～2回開催。2008年度は474組の親子が参加しました。

会場
(店舗の組合員施設)

ベルフ仙北
ベルフ山岸
ベルフまつぞの
ベルフ青山
コープアテルイ
コープ関COLZA



子育てキャンペーン

コープ子育てキャンペーンは11月に実施。子育て応援ガイド「ララ★キッズ」を含む「子育て応援プレゼント」の無料配布や子育て講演会の開催などが好評でした。



マンガ家の高野優さんの講演会(子育てトーク)を開催。約100人の参加者に笑顔と元気を与えました。

YFC(ヤングファミリーサークル)

就学前の乳幼児をもつ組合員5人以上で結成できる「子育てサークル」。いわて生協が、活動費などを支援。2008年度は12サークル92組の親子が登録、店舗の集会室等を会場に親子で遊んだり、交流しました。



ポラン農業小学校

時代を担う子どもたちに食べ物の大切さ・つくることのすばらしさを感じとってほしいと、JA西和賀(現在はJAいわて花巻)といっしょに1999年に開校。退職した先生方や地域の方の協力も得て取り組んでいます。毎年30～40人の小学生が参加し、西和賀の豊かな自然へ月2回、1年間を通じて登校。学校運営にも主体的に関わり、「生きる力」を育てています。

2008年度は10周年を迎え、これまでに365人の子どもたちが卒業しました。



お母さんの元気づくり講座

お母さんが一時的に子育てから離れ、自分の時間がもてる保育つき企画。心と身体をリフレッシュ、学びながら何かを得られる場として取り組んでいます。2008年度は11会場で開催、116人が参加しました。



「わが子への愛を世界の子どもたちに」というお母さんの願いをもとに、いわて生協は1990年の創立以来、ユニセフの活動に取り組んでいます。

募金は19年間で8,670万円にも！

店舗・共同購入での「ファミリー募金」「緊急募金」、ボランティアによる「ハンド・イン・ハンド募金」(12月)などを通し、2008年度は669万円を超える募金が寄せられました。

また、北海道・東北の生協がいっしょに2005年度から取り組んでいるのが、「ネパール指定募金」。ファミリー募金のうち180万円が、ネパールの子どもたちや母親を対象にしたユニセフ活動に使われています。

2008年度いわて生協に寄せられたユニセフ募金

ファミリー募金(店舗募金箱や共同購入での募金)	239万2,183円
ハンド・イン・ハンド(12月)	76万5,856円
お年玉募金(1月)	44万3,036円
カレンダー募金など	19万3,405円
中国大地震・ミャンマー緊急募金	290万3,117円
2008年度 合計	669万7,597円
累計 (1990~2008年度)	8,670万5,624円

ユニセフ 出前講座

ユニセフのこと、世界の子ども たちのこと、知らせたい



ユニセフ委員(組合員)が学校や学童保育クラブでの学習会の講師として出向き、ユニセフの活動や世界の子どもたちの状況をお知らせする活動も。ゲームやクイズ、水がめでの水汲み体験、地雷レプリカやマラリア防止用の蚊帳などを使ってわかりやすく説明しています。

ハンド イン ハンド

世界の子どもたちのために、 募金をお願いします！

12月に全国一斉に行う街頭募金に、2008年はいわて生協だけで28会場・総勢760人のボランティアが参加。高校生以下の参加も多く、元気な声で呼びかけました。



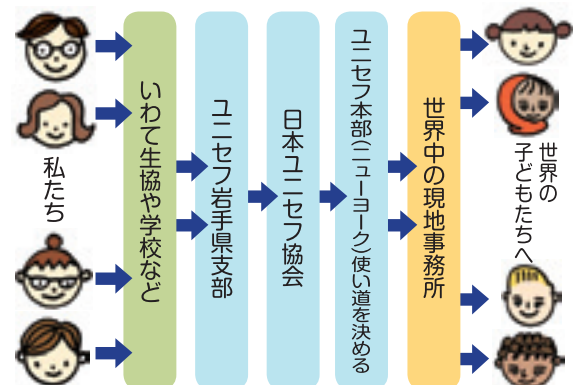
ユニセフ スタディ ツアー

募金は役に立っているの？ 現地を視察

指定募金先のネパールへの「ユニセフスタディツアー」に2008年、組合員を派遣。募金がどのように役立っているかを視察し報告会なども開催。また、ユニセフ岩手県支部といっしょに、ユニセフについて理解を広げる企画にも取り組んでいます。



募金の流れ



「誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり」をめざして、幅広い福祉活動を組合員自身がすすめています。

コープくらしの助け合いの会

「困ったときはお互いさま」の気持ちを出発点に、1992年に発足。会員制の有償ボランティアで、高齢者や体の不自由な方、産前産後の方への家事・生活援助（掃除や家の中の片付け、洗濯、食事づくり、話し相手など）、託児や乳幼児の世話などをおこなっています。現在、盛岡・花巻・北上・奥州・一関・宮古・釜石・けせんで活動し、会員数は1,192人。2008年度の活動は、のべ24,107時間（前年25,547時間）でした。

活動会員	380人
利用会員	622人
賛助会員	190人
合計	1,192人

※いわて生協の組合員ならどなたでも入会でき、会員の種類の変更や退会はいつでもできます。

くらしいきいき応援隊

「くらしいきいき応援隊」は、働く人が資本と労働力を持ち寄り、みんなで運営していく「ワーカーズ・コープ（働く人の協同組合）」。

いわて生協が支援し、2007年7月に盛岡地域で立ちあげました。「自分のことで役に立ちたい」「定年後もまだまだ元気に働きたい」といった方が参加し、「コープくらしの助け合いの会」では対応しにくい要望（高齢や産前産後などではないが、手助けがほしい方など）に応えています。発足したばかりですが、2008年度は91人が7,285時間をこえる応援を行い、順調に活動を広げています。

ワーカーズコープでは男性もいきいきと活動。庭木の剪定や植木の移植、畑や花壇づくり、家具の移動、通院介助、犬の散歩などを応援。



ふれあいお茶っこ会

同じ地域にくらす人々みんなで支えあって生きていこうと、盛岡医療生協といっしょにミニデイサービス「ふれあいお茶っこ会」を1999年から取り組んでいます。2008年度は、盛岡市内12か所で94回開催、1,588人の高齢者やボランティアが参加しました。



レクリエーションや昼食会などで楽しいひとときを過ごしています。

共同購入チラシを音声で案内

目が不自由な方へ、共同購入チラシ「ウィーク」の商品名や規格、価格、注文番号を読み上げて録音し案内する「リーディングサービス」。昨年11月からは、プレクストークという専用の再生機を使って聞き取るCDへの録音になりました。利用者39名からは、頭出しや品目別の聞き取りがしやすくなったと喜ばれています。プレクストークは視覚障がいの方の生活支援用具として、対象の方は定価（35,000円）の1割（3,500円）で購入できます。音声案内を利用したい方には、プレクストークの購入方法とあわせて、ご案内しています。



共同購入ウィークを音声（CD）でお届け。これが専用の再生機「プレクストーク」。

貴重な県民の財産を維持・公開 保存庭園・建物「南昌荘」

明治18年頃、盛岡出身の実業家瀬川安五郎の邸宅として建てられた「南昌荘」。現在に残る数少ない明治の邸宅・名園として、盛岡市「保存建造物」「保存庭園」に指定されています。

いわて生協は組合員・県民の共有財産としてこの南昌荘を保有し、創立10周年（2000年）を機に公開をスタートしました。以来、多くの市民や岩手を訪れる方々の安らぎの空間として、また多彩な催しの会場として活用されています。2008年度は、2000年に次ぐ19,864人が入園、公開9年で入園者は16万人を超えました。



- 休館日
月・火曜日 年末年始
- 開館時間
10～17時
(12～3月は16時)
- 入場料
大人200円
小・中学生100円

文化にふれて心ゆたかに「文化鑑賞会クオレ」

“すぐれた芸術や文化を共同購入しよう”と発足した会員制の文化鑑賞会「クオレ」。月会費（月1,575円）で、年3～4回の例会に参加できます。上演作品は会員の声をもとに話し合っ決定し、演劇や落語、ミュージカルに歌舞伎と、さまざまなジャンルの作品にふれられると好評です。発足から10年で、会員数は2,000人に達しています。



第31回例会「細雪」(2009年10月)。



文化鑑賞会クオレ例会これまでの作品(抜粋)



第26回例会「王様とおばさん」(2008年6月)。出演者の羽野晶紀さん、宮本信子さん、布施明さんとクオレ運営委員とで記念撮影。

● 毎日の食生活を支える「店舗」

地域にねざし、県内に13店舗

組合員の毎日の暮らしを支え、「安全・安心な食のよりどころとなるお店」「新しい提案のあるお店」をめざし、2008年度は盛岡市内3店舗をリニューアル、ベルフまつぞのをオープンしました(コープまつぞのを建て替え)。

組合員の要望にこたえ、ベルフまつぞのでは、盛岡市玉山区の生産者グループ「さくらの里産直会」との産直をスタート。また、2009年夏オープン予定の「ベルフ牧野林」(滝沢村)には「牧野林産直会(仮称)」の産直コーナーを開設予定で、準備をすすめています。



地域の組合員の願いが実現し、2008年10月ベルフまつぞのがオープン。



「組合員の声」5,785件を集約

組合員から「言われたこと」「聞かれたこと」に対し、その場での対応はもちろん品揃えや売り場づくり、サービスや仕事のしくみにいかす活動を2007年度からスタート。2008年度は5,785件が記録・報告・共有され、さまざまな改善が取り込まれました。



組合員の声にこたえた品揃えもすすめました。

全店舗にAEDを設置

心臓突然死の原因となる心室細動の正常化に効果的なAED(自動体外式除細動器)を全店舗に1台ずつ設置しました。また、共同購入各支部には事務所に1台と、高齢者の多い地域や遠隔地を配送するトラック1台に搭載。セリオホールや介護・福祉センターにも設置しています。



設置事業所では、AED使用方法を常勤者が学習しました。

高齢者などのお買い物を支援

自家用車を使わない方や、交通の便が悪い地域のお買い物の利便を図るため、盛岡市内の店舗で「買い物バス」を運行。車内は組合員どうしの交流の場にもなっています。また、宮古のマリンコープDORAと宮古駅間ではシャトルバスを実施しています。

お買い上げいただいた商品の配達サービスも店ごとに実施しており、特にたくさんお買い物する年末やお盆に喜ばれています。しかし基準が店ごとに異なるため、2009年度に基準を統一し全店で実施していきます。

店舗の利用還元は2億7千万円に

2008年度、組合員カードのポイントサービスによる割り戻しは1億4,946万円、毎月1日の「消費税負担実感デー5%値引き」と15日の「家計応援5%引き」による還元は1億1,999万円となり、合計2億6,945万円を組合員に還元しました。



● 配達される便利なくみでくらしを支える「共同購入」

1万人が利用している「個配優遇制度」

共同購入は、毎週発行のカタログを見て注文した商品が配達される、便利なくみ。県内8か所（8支部）を拠点に、毎週約4万6千人の組合員に安全・安心の商品をお届けしています。

配達方法は「個配」「なかよし個配」「班配達」の3つで、ここ数年は「個配」「なかよし個配」の利用者数が増えています。また、その優遇制度は、赤ちゃんがいたり高齢などの理由で思うようにお買い物ができない方々に、とても喜ばれています。

2008年度は、班員3,734人、個配（なかよし個配を含む）9,824人、計13,558人と、昨年に続き1万人を超える仲間を迎えました。

また、2008年4月からの改正生協法では、保育所や福祉施設など法人にもご利用いただけるようになりました。



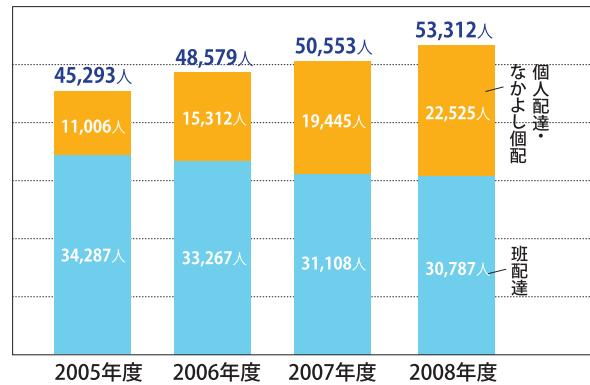
保育所では給食の食材やおやつ
の材料などに共同購入を利用。

地域の安全を見守る役割を発揮

毎週の配達で地域をまわる共同購入の特性をいかした取り組みとして、個配利用の高齢者の安否（在宅）情報を、離れてくらししているご家族などへメールでお知らせする「個配メールサービス」をスタートしました。

また、「配達先の一人ぐらしの高齢者が倒れているのを発見し、すぐに救急車を呼んだため大事には至らなかった」、「配達先のアパートで煙くさいことに気づき、消防に連絡し火災を未然に防いだ」など配達担当者の適切な対応が、地域から感謝されるという事例もありました。

利用者数（各年度末のOCR発行人数）



優遇対象者(配達料金が1回100円に)	利用人数	割合
母子手帳が発行されてから、満3歳の誕生日までのお子さんがいる方	3,179人	14.1%
70歳以上で単身、または夫婦世帯で一方が70歳以上	4,075人	18.1%
障がい者手帳をお持ちの方がいるご家庭	2,603人	11.6%
計	9,857人	43.8%

組合員の家計に貢献「灯油配達事業」

岩手の冬の暖房エネルギーとして欠かせない灯油の配達事業も展開し、利用登録者数は43,978人。2008年度は、原油価格高騰・急落の中でかつてない価格変更を行わざるを得ませんでした。暫定価格の引き下げで市況を動かす役割を果たしました。価格が高騰・不透明な中で利用者拡大がすすみ（5,476人）利用結集されたことにより、1ℓ当たり2.5円（18ℓ1缶で45円）、総額5,400万円を還元。冬場通して県平均を下回る価格を実現し、組合員の家計に貢献しました。



● 全国660万人のたすけあい「共済事業」

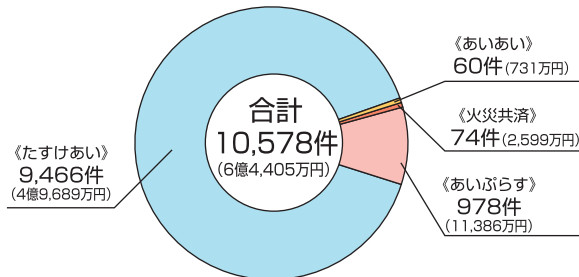
保有8万件台に到達

生協の共済は、組合員どうしの助け合いを形にした、保障のコープ商品。いわて生協の共済契約件数は年々増加し、2009年3月で8万3,757件になりました。支払い件数も1万件をこえ、身近に頼れる保障の制度として役立ち度を高めています。

共済加入件数 (2008年度)

種類	加入件数	純増	保有件数	前年比
たすけあい	7,802件	2,427件	61,878件	104%
あいぶらす	3,952件	2,830件	16,790件	120%
火災共済	305件	93件	4,439件	102%
新あいあい	62件	62件	175件	155%
あいあい	募集停止	▲119件	475件	80%
合計	12,121件	5,293件	83,757件	107%

共済金の支払件数 (2008年度)



改正生協法に対応し、共済事業を全国一本化

2008年4月からの改正生協法に対応し、新たに設立された「日生協コープ共済生活協同組合連合会」への加入と出資、元受共済事業譲渡、共済契約の包括移転を行い、組合員へのお知らせをすすめました。全国660万人の共済加入者の掛金をまとめることで、より要望に沿った共済商品をつくることができ、組合員の選択の幅が広がります。2009年度は、商品改善として《たすけあい》ジュニア18新コース開発、《あいぶらす》ゴールド80医療型(仮称)新設が計画されており、これを実現するため、さらに加入者を広げていきます。店舗では定期的に相談会も開催。



地震被災者に「異常災害見舞金」

2008年に発生した岩手・宮城内陸地震、岩手県北部地震では、「助け合いのコープ商品」として役割を發揮。被害集中地域の加入者への電話問い合わせ・訪問を行い、被害状況の把握と異常災害見舞金制度をお知らせ・支払いをすすめました。



被害集中地域に入り、共済加入者を訪問。異常災害見舞金の請求手続きをすすめました。

募金や物資での支援も

岩手・宮城内陸地震の際には、いわて生協として「災害支援募金」に取り組み、302万1,827円が寄せられました。この募金を被害の大きかった奥州市と一関市に150万円ずつ贈呈したほか、「災害時の物資協定」により一関市へ弁当を提供。また、共同購入利用者で被災した方へは支援物資をお届けし、喜ばれました。



浅井一関市長へ募金を贈呈する、一関コープ代表佐藤千鶴さんと池田理事長。

● 地域の評価が高まっている「介護・福祉事業」

「住みなれた地域で安心してらせるように」という願いから、介護・福祉センターがスタートして4年。「介護・福祉相談窓口」と「介護保険サービス」（盛岡市・滝沢村）を行っています。2008年度は、居宅介護支援のいねいな対応や、福祉用具の対応の迅速さが利用者や地域の事業所から評価されるようになり、新規利用が増えてきています。

この介護・福祉事業を地域の組合員に知らせるための「あい委員会」に、2008年度は16人の組合員が参加し活動しました。また、組合員の活動「コープくらしの助け合いの会」や「ワーカーズ・コープ うれしいいきいき応援隊」などとの連携もはかられ、手助けを必要とする方を支えています。

事業	2008年度の利用者数	前年比
居宅介護支援(ケアプラン)	2,429人	118%
訪問介護	732人	110%
福祉用具貸与	856人	180%



居宅介護支援のいねいな対応への評価が高まりました。



介護用品の展示・販売も行っています。

● 事業展開地域が拡大「セリオ葬」

いわて生協の葬祭事業は「人生最後の儀式だから心をこめて」「納得できる適正な価格で」という声にこたえて1993年にスタート。その後、「自宅に代わって通夜・葬儀ができる施設を」との声で、葬祭会館「セリオホール」を盛岡市内に2館オープンしました。また2008年には、Aコープ北東北と事業提携し、「セレモニーホール」（盛岡市仙北）をいわて生協の組合員が利用できるようになり、利便が向上しました。

事業展開地域は、盛岡市とその周辺市町村（岩手県学校生協の組合員も利用できます）のほか、全農岩手県本部との事業提携により花巻市・北上市にも広がりました。



2008年度の利用状況

セリオホール中野	217件
セリオホールみたけ	162件
セレモニーホール	20件
自宅施行	84件
花巻・北上	4件
合計	487件



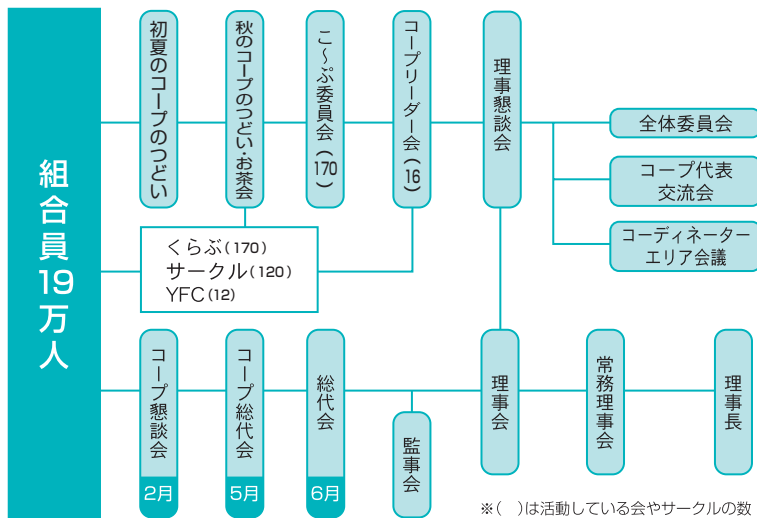
● 関連会社の状況

区分	子会社	関連会社
会社名	株式会社共働社	株式会社コープトラベル東北
いわて生協の出資比率	100%	13.5%
事業内容	損害保険の代理業務・生命保険の募集関連業務・酒類小売業とこれらに付帯関連する一切の業務	一般旅行業務並びにプレイガイド業、損害保険代理業、レンタカー斡旋並びに旅行用品レンタル事業

● 組合員一人ひとりが運営に参加、計画づくりもみんなで

生協（生活協同組合）は、一人では力の弱い私たち生活者が、力をあわせて「よりよいくらしを実現しよう」とつくっている組織です。そのために、事業のもとでとなるお金「出資金」を組合員みんなで出し合い、要望にもとづいた事業をみんなで「利用」し、話し合いや活動に参加したり、意見を出すことにより、みんなで「運営」しています。

組合員は出資金を出して事業を利用するだけでなく、運営に関わることも大切にし、さまざまな運営参加の場や機会を設けています。



2009年度計画が決まるまで

2月 コープ懇談会

県内各地40会場に1,900人が参加



全会場に常勤役員が参加し説明。出された意見を検討し、いわて生協全体や各コープ（地域）の計画に反映。

5月 コープ総代会

16会場に1,800人が参加



「総代会」の事前協議の場として、また各コープの計画を決定する場として開催。出された意見は検討し、総代会の討議に反映。

6月 総代会

組合員の代表である総代500人が参加

1年に一度開催する、生協の最高議決機関。いわて生協の事業計画とその執行にあたる理事・監事（任期2年）を決定。

● 地域に根ざした生協をめざし、16地域（コープ）で運営

地域の運営・活動の中心「コープリーダー会」

16の地域（コープ）ごとに、こ〜ぶ委員会からの代表が集まり、地域の組合員の願いにそった活動をすすめます。店舗や共同購入への意見を出し合ったり、産直交流会、コープ商品の試食会など多彩に行っています。

組合員だれもが参加できる「コープのつどい」

年2回（初夏と秋）開催され、くらしの中の問題を考えあったり、生協の商品を試したり、生協への意見を出し合います。2009年度は、環境や食の安全がテーマです。



毎月楽しく集まる「こ〜ぶ委員会」

県内には170のこ〜ぶ委員会が作られ、900人のこ〜ぶ委員さんが活動。月1回集まり、コープ商品を囲んで、生協やくらしのことを話し合います。コープのつどいの開催や、地域の組合員の要望にそって企画しています。

ご近所集まってわいわい話し合う「お茶会」

班はいっしょに共同購入を利用するだけでなく、「お隣近所や地域での交流・助け合いの場」としても大切にしたい集まりです。「秋のコープのつどい」のあとは、「お茶会」を機会に集まりましょうと呼びかけています。「お茶会」は3人以上あつまれば、個配利用の方も開催でき、お茶会商品も無料で試すことができます。

● 生協法の改正を契機にガバナンスの強化に取り組みました

ガバナンスの強化

■理事会と監事の権限強化と責任の明確化

○理事会の権限が、強化され明確になりました。

○監事の権限と独立性が強化されました。

○理事・監事の責任が明確になりました。

■理事会・監事会の運営を改善

○理事会は、重要議決事項の検討を重視する運営に変えました。

○監事会の開催を増やしました。

■情報開示制度の策定

情報開示の基準・手続きについて規則を定め、情報開示制度をつくりました。

外部によるチェック・指導

■公認会計士

公認会計士2名と契約し、会計処理・財務報告の適正化と監査を受けています。

■環境審査

ISO14001の第三者認証機関、日本環境認証機構(JACO)による審査を受けています。

■岩手県による指導検査

消費生活協同組合法第94条により、定期的に業務および会計の状況に関する指導検査を受けています。

内部監査機能

■業務監査

方針や決めたことがどこまで浸透し、実施されているかどうかの実態と問題を把握するため、業務監査を実施しています。把握された問題については、リスク対策会議の中で、本部の役割機能の見直しも含めて、順次改善しています。

■環境マネジメント内部監査

全事業所を対象に毎年実施。監査所見については是正指示により、原因、緩和措置、是正・予防措置を明確にします。2008年度は、61件の所見事項を改善しました。

■個人情報保護内部監査

44の対象事業所について毎年実施。不備な点については是正指示を行い、改善をしています。2008年度は56件の是正件数で、前年より減少しました。

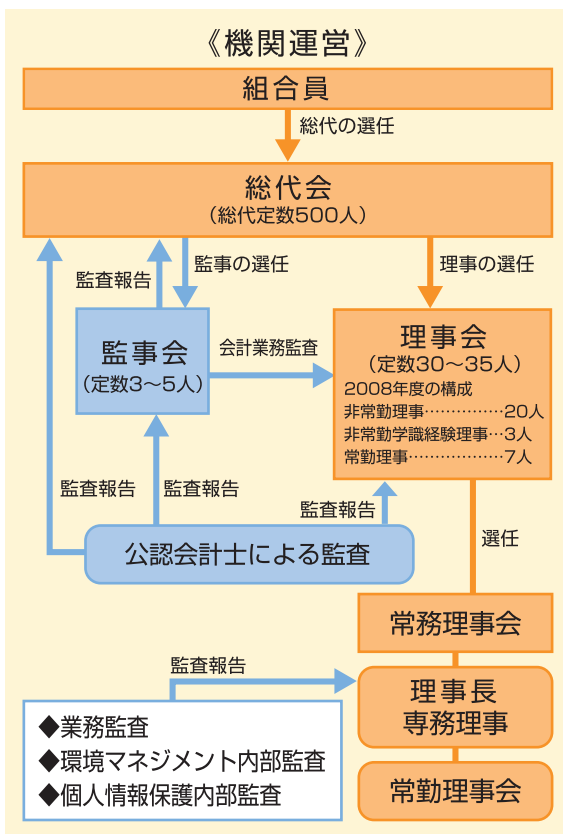
相談・通報機能

■内部通報制度（直通電話：経営企画室）

常勤者が法令遵守に関する相談や通報を直接行える制度を、2006年度から導入しています。

■職場110番（直通電話：総務部）

常勤者がおもに職場の悩みや職場環境、労働条件について、直接相談したり通報できるしくみをつくっています。



いわて生協常勤者のデータ (2009年3月20日現在)

	男性	女性	計
常勤役員	5人	2人	7人
正規常勤者	275人	58人	333人
・幹部(室長職以上)	47人	4人	51人
・平均年齢	41歳	37歳	40歳
・平均勤続年数	17年	15年	17年
パート・アルバイト常勤者	298人	1,275人	1,573人

●コンプライアンスマネジメントシステム構築の取り組み

コンプライアンスを定着させるため、コンプライアンスマネジメントシステムの構築に着手し、「コンプライアンス自主行動基準」の策定と「法令遵守の見える化」に取り組んでいます。定着は09年度の引き続き課題です。

●内部統制システムの構築を

会社法にもとづく内部統制システムを09年度に構築します。引き続き、金融商品取引法にもとづく内部統制の構築を予定しています。

いわて生協のプロフィール (2009年3月20日現在)

本部 / 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3

電話 019-687-1321 (代表)

FAX 019-687-1491

<http://www.iwate.coop/>

理事長 / 池田和昌

創立 / 1990年3月21日

出資金 / 64億3,574万円

供給高 / 349億4,806万円 (2008年度実績)

組合員数 / 191,984人 (県内世帯数比38.2%)

班数 / 10,951班 (個配含まず)

班員数 / 39,504人

常勤者数 / 1,922人 (アルバイト含む)

2008年度の事業の決算概況

2008年度損益計算書

(2008年3月21日～2009年3月20日) (単位:百万円)

科目	実績
供給高	34,948
供給剰余金	8,564
その他の事業収入	402
事業総剰余金	9,450
管理費	9,424
人件費	4,411
物件費	5,003
事業剰余金	27
事業外収益	339
事業外費用	19
経常剰余金	347
特別利益	364
特別損失	215
当期剰余金	293

事業部門別供給実績

(2008年3月21日～2009年3月20日) (単位:百万円)

事業部門	実績
店舗事業	20,936
共同購入事業 (灯油含む)	13,392
葬祭事業	619
総供給高	34,948

2008年度貸借対照表

(2009年3月20日現在) (単位:百万円)

資産の部		負債・資本の部	
流動資産	6,483	流動負債	7,320
固定資産	12,118	固定負債	2,100
有形固定資産	8,634	出資金	6,436
無形固定資産	373	剰余金	2,746
その他固定資産	3,111		
資産合計	18,601	負債・資本合計	18,601



事業所一覽

本部 滝沢村滝沢字土沢220-3

本部／総務部・経営企画室・開発施設部・組織本部
TEL019-687-1321 FAX019-687-1491

事業本部／商品部・店舗事業本部・共同購入事業本部
TEL019-687-1441

経理部 TEL019-687-1341

共済センター ☎0120-168160

コープサービス ☎0120-666356

コープ保険センター ☎0120-239739

家電センター ☎0120-879300

その他

コープくらしの助け合いの会滝沢村滝沢字土沢220-3
盛岡地区 TEL019-699-1777
盛岡以外 ☎0120-537940

コープトラベルいわて盛岡市仙北3丁目8-40
(Belf仙北2階) TEL019-631-2671

中野組合員センター盛岡市中野2丁目10-10

共同購入

盛岡支部 滝沢村滝沢字土沢220-3 ☎0120-042306

宮古支部 宮古市田鎖第8地割字十字街12-1 ☎0120-693312

花北支部 花巻市石鳥谷町小森林第5地割220-1 ☎0120-405531

県南支部 奥州市前沢区字五合田63-8 ☎0120-803620

釜石支部 釜石市甲子町第8地割119 ☎0120-272201

けせん支部 大船渡市盛町字二本柁16-11 ☎0120-263957

にのへ支部 一戸町一戸字越田橋25-1 ☎0120-255582

久慈支部 久慈市新井田3-98-1 ☎0120-341588

盛岡灯油センター ☎0120-112021

事業所案内

コープ高松
盛岡 あさ7時～よる12時
P 40台
盛岡市上田4丁目21-5
TEL.019-624-2218
FAX.019-624-2226

コープ山王
盛岡 あさ9時～よる11時
P 50台 灯油取扱
盛岡市山王町10-6
TEL.019-654-3370
FAX.019-654-3371

コープ緑が丘
盛岡 あさ9時～よる11時
P 70台
盛岡市緑が丘3丁目1-10
TEL.019-661-5725
FAX.019-661-5726

Belf 青山
盛岡 あさ9時～よる11時
P 200台 灯油取扱
盛岡市青山4丁目17-2
TEL.019-647-8181
FAX.019-647-8184

Belf まつその
盛岡 あさ9時～よる11時
P 110台
盛岡市松岡3丁目18-20
TEL.019-662-5152
FAX.019-662-8018

Belf 仙北
盛岡 あさ9時～よる11時
P 180台 灯油取扱
盛岡市仙北3丁目8-40
TEL.019-635-0135
FAX.019-635-0158

マリコプDORA
宮古 あさ10時～よる9時
(日曜・祝祭日はあさ9時開店)
P 600台
宮古市小山田2丁目2-1
TEL.0193-63-3131
FAX.0193-63-3366

Belf 山岸
盛岡 あさ9時～よる11時
P 140台 灯油取扱
盛岡市山岸2丁目16-8
TEL.019-654-2184
FAX.019-654-4092

コープ西町
宮古 あさ10時～よる10時
P 70台
宮古市田の神2丁目2-25
TEL.0193-62-0203
FAX.0193-63-4050

コープチェリオ
宮古 あさ8時～よる7時30分
P 140台
宮古市崎銀ヶ崎1-11-26
TEL.0193-64-4121
FAX.0193-64-6022

コープAterui
奥州 あさ10時～よる10時
(日曜・祝祭日はあさ9時開店)
P 1400台
奥州市水沢区佐倉河字東沖/目123
TEL.0197-51-0088
FAX.0197-51-0070

コープ西ヶ丘
宮古 あさ10時～よる10時
P 40台
宮古市西ヶ丘1丁目6-1
TEL.0193-64-1158
FAX.0193-64-1199

セリオホール中野
盛岡 年中無休
P 60台
盛岡市中野2丁目3-25
☎0120-059212
FAX.019-654-1900

コープ関COLZA
一関 あさ9時～よる11時
P 330台
一関市石畑3-1
TEL.0191-26-3331
FAX.0191-26-3380

コープ介護・福祉センター「あい」
盛岡 あさ9時～よる18時
P 145台
盛岡市北天寺町1-60
☎0120-179131
TEL.019-643-9131
FAX.019-643-9138

セリオホールみたけ
盛岡 年中無休
P 30台
盛岡市みたけ3丁目7-35
☎0120-529711
FAX.019-647-8990

盛岡市保護庭園 盛岡市保存建造物 **南昌荘**
盛岡 10時～17時・月火休
(12月～3月は16時閉館)
P 10台
盛岡市清水町13-46
TEL&FAX 019-604-6633